

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・整理整頓については、改善の必要があるように見受けられる。
- ・スタッフの人数については、十分であるとの評価が多い。

B利用者への支援内容

- ・支援内容については適切な内容であると評価している様子であるが、その成果については実感が少ないと感じていることが伺われる。

C関係機関との連携

- ・関係機関との連携については、不十分に感じているスタッフが少なくない。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者向けお便りやHPを通じての情報提供などに不足している部分がある。また、保護者の勉強についても同様に評価が少ない。

E非常時対応

- ・利用時の緊急連絡先の把握等、避難対応については不足を感じている意見があった。

保護者による評価

A環境面

- ・環境については概ね満足されている様子。他児との関係については、若干評価の低い意見もあった。

B利用者への支援内容

- ・本人のニーズに合った支援やその成果については評価をされている様子。
- ・余暇活動のカフェについては、活動がなかったからか、評価が低かった。

C事業所からの情報発信

- ・事業所からの通知の回数や内容については、適切であると感じられているようである。特に面談について有意義に感じられているようである。

D非常時対応

- ・事業所の対応については適切であると評価されている様子。
- ・家庭での保護者と利用時との話し合いについての実施は不足している。

事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面や支援内容については、全体として適切であると考えてよいと感じた。
- ・他機関との連携については、スタッフ、保護者ともに不足を感じている事がわかった。

【相違点】

- ・余暇活動のカフェについては、保護者や独自に行った利用時へのアンケートでも、評価をしている意見が少なかった。

分析・検証してみた

事業所の強み

- ・保護者からは支援内容や面談を含めた関りについては評価を得ており、一定の信頼関係を作れている。
- ・スタッフからも人員配置を含めた職場環境について満足されている様子が見受けられ、前向きに業務にあたっている。
- ・緊急時、怪我・病気など、突発的な対応についても、保護者スタッフともに内容の把握ができており、訓練を継続してきた成果が表れてきた。

事業所の改善点

- ・他事業所や、特に学校等の連携についてはなかなか改善がされていないのは悩ましい。
- ・支援中の利用時同士のかかわりや、保護者勉強会等、人との接触のある活動については停滞気味であった。
- ・余暇時間帯のカフェ活動については、検討が必要。
- ・緊急時の保護者への連絡系統については、具体的な検討が必要。

事業所の改善への取り組み

- ・学校を含めた他機関との連携を深めるために、積極的に区の連絡会等に参加しかかわりを深めていく。
- ・今後のカフェ活動についてスタッフ全体で検討し、現在の利用児に必要な内容をあらたに決定していく。
- ・今後もスタッフとの情報共有を活発に利用児にとってよりよい支援内容を検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この一年間はコロナ禍での対応だったので、少なからず様々なところで影響が出ているように感じた。特に、他児との関りや、保護者勉強会など、人と人との関係については希薄にならざるを得なかったと思う。今後、コロナ感染予防をした上での活動内容を、長期的に考える事が必要となっていると考えている。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス 三ツ境教室
担当者 小林 由貴子